



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 パシフィックシステム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3847 URL <https://www.pacific-systems.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 泰博  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 土谷 稔 (TEL) 048-845-2200  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,288	9.1	73	—	76	—	47	—
2023年3月期第1四半期	2,097	△25.8	△58	—	△57	—	△44	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 61百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △49百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 32.15	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	△30.05	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	8,236	5,635	68.4
2023年3月期	8,235	5,672	68.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 5,635百万円 2023年3月期 5,672百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	65.00	—	67.00	132.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	66.00	—	66.00	132.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,200	6.2	774	35.0	782	34.0	537	60.0	363.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	1,480,000株	2023年3月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	386株	2023年3月期	386株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	1,479,614株	2023年3月期1Q	1,479,635株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年6月30日）におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、景気の持ち直しの動きがみられました。その一方で、地政学リスクに伴うエネルギー・原材料価格の上昇に加え、欧米諸国での政策金利の引き上げや、それに伴う為替市場への影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、そのような環境の中でも、各企業におけるDX推進の流れは継続し、AI・IoT技術などのICT（情報通信技術）の役割は従来以上に重要性を増し、情報化投資意欲の高まりは継続していくものと考えられます。

このような状況のもと、当社グループは23中期経営計画（2021年度～2023年度）に従い、環境の変化に迅速かつ柔軟に対応しながら、主要事業の推進に取り組みました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、機器等販売、システム販売、システム運用・管理等のセグメントで増加となり、2,288百万円（前年同期比9.1%増）となりました。損益につきましては主に売上高の増加に加え、当期は前期に比べ不採算案件が抑制され利益率が改善したことにより利益は増加し、営業利益73百万円（前年同期営業損失58百万円）、経常利益76百万円（前年同期経常損失57百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益47百万円（前年同期純損失44百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

（単位：百万円）

		前第1四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	前年同期比	
				増減	増減率
機器等販売	売上高	433	500	66	15.3%
	セグメント利益	27	35	7	27.3%
	セグメント利益率	6.4%	7.1%	0.7P	—
ソフトウェア開発	売上高	315	228	△86	△27.5%
	セグメント利益又は損失(△)	△20	33	53	—
	セグメント利益率	△6.4%	14.8%	21.2P	—
システム販売	売上高	469	650	180	38.5%
	セグメント利益	20	84	63	311.4%
	セグメント利益率	4.4%	12.9%	8.6P	—
システム運用・管理等	売上高	888	919	31	3.5%
	セグメント利益	244	258	14	6.1%
	セグメント利益率	27.5%	28.2%	0.7P	—
調整額(注)1	売上高	△9	△10	△0	—
	セグメント利益又は損失(△)	△331	△338	△7	—
計(注)2	売上高	2,097	2,288	191	9.1%
	営業利益又は営業損失(△)	△58	73	132	—
	営業利益率	△2.8%	3.2%	6.0P	—

(注) 1 セグメント利益の調整額△338百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

#### ①機器等販売

当セグメントは、パソコン、サーバー及び周辺機器とパッケージソフトウェア等の仕入・販売を行っております。

す。

売上高は顧客におけるサーバー等の機器需要が旺盛であったこと、また子会社において教育委員会向けの売上が好調であったことから増加し、500百万円（前年同期比15.3%増）となりました。セグメント利益は売上高の増加により、35百万円の利益（同27.3%増）となりました。

#### ②ソフトウェア開発

当セグメントは、製造業・流通業・金融業等幅広くアプリケーションシステムの受託開発業務を行っております。また、主に製造業向けにERP事業のコンサルとシステム開発を行っております。

売上高は主要顧客における大規模開発プロジェクトが終盤となり減少し、228百万円（前年同期比27.5%減）となりました。セグメント利益は売上高が減少する一方、当期は前期に比べ不採算案件が抑制され利益率が改善したことから利益は増加し、33百万円の利益（前年同期20百万円損失）となりました。

#### ③システム販売

当セグメントは、画像処理システムや生コンクリート業界向けシステム等の自社開発システム商品の販売及びネットワーク構築等のインフラサービスを行っております。

売上高は公共向けのインフラ案件、また子会社において医療システムにおける大規模な開発案件等により増加し650百万円（前年同期比38.5%増）となりました。セグメント利益は売上高の増加に加え、当期は前期に比べ不採算案件が抑制され利益率が改善したことから利益は増加し、84百万円の利益（同311.4%増）となりました。

#### ④システム運用・管理等

当セグメントは、ユーザシステムの運用・管理サービス、データセンター、保守サービス等を行っております。

売上高はデータセンター業務、保守関連等の増加したこと、また子会社における製造業向けのシステム運用保守が伸長したこと等により、919百万円（前年同期比3.5%増）となりました。セグメント利益は売上高の増加により、258百万円の利益（同6.1%増）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間よりセグメント別の経営成績に記載の各セグメントの売上高については、外部顧客への売上高にセグメント間の内部売上高又は振替高を加えた金額を記載しております。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産は、次のとおりです。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間末 (2023年6月30日)	前年度末比	
			増減額	増減率
流動資産	5,350	5,411	60	1.1%
固定資産	2,884	2,825	△59	△2.1%
資産合計	8,235	8,236	0	0.0%
流動負債	2,153	2,228	74	3.5%
固定負債	409	372	△36	△9.0%
負債合計	2,562	2,600	37	1.5%
純資産	5,672	5,635	△37	△0.7%

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は8,236百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金、電子記録債権及び仕掛品が増加したことによります。負債合計は2,600百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円増加いたしました。これは主に、未払費用、短期借入金が増加したことによります。純資産は5,635百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、株主配当金の支払があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね当初予想通りに推移しており、通期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表した予想に変更はありません。

当連結会計年度(2024年3月期)の業績見通しにつきましては、売上高10,200百万円、営業利益774百万円、経常利益782百万円、親会社株主に帰属する当期純利益537百万円を見込んでおります。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、経済情勢、事業運営における内外の状況変化等により、予想値と異なる場合があります。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,967,209	2,516,371
受取手形、売掛金及び契約資産	2,394,001	1,585,746
電子記録債権	59,664	272,013
リース投資資産	434,115	426,299
商品及び製品	51,580	56,594
仕掛品	228,365	355,345
原材料及び貯蔵品	49,454	46,350
その他	167,128	153,104
貸倒引当金	△852	△595
流動資産合計	5,350,667	5,411,230
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	669,526	655,870
土地	531,977	531,977
その他（純額）	768,286	733,423
有形固定資産合計	1,969,790	1,921,272
無形固定資産		
投資その他の資産	348,375	317,147
退職給付に係る資産	129,168	133,509
その他	437,926	453,532
貸倒引当金	△391	△391
投資その他の資産合計	566,703	586,650
固定資産合計	2,884,869	2,825,069
資産合計	8,235,537	8,236,300
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	848,098	625,782
短期借入金	-	50,000
未払費用	258,053	658,659
未払法人税等	27,846	36,236
賞与引当金	353,123	192,732
受注損失引当金	36,307	19,905
アフターコスト引当金	47,508	31,332
その他	582,414	613,369
流動負債合計	2,153,351	2,228,018
固定負債		
その他	409,624	372,918
固定負債合計	409,624	372,918
負債合計	2,562,976	2,600,936

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	777,875	777,875
資本剰余金	239,946	239,946
利益剰余金	4,639,202	4,587,892
自己株式	△802	△802
株主資本合計	5,656,222	5,604,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	109,342	120,519
退職給付に係る調整累計額	△93,004	△90,068
その他の包括利益累計額合計	16,338	30,451
純資産合計	5,672,560	5,635,363
負債純資産合計	8,235,537	8,236,300



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,097,490	2,288,553
売上原価	1,652,388	1,702,350
売上総利益	445,102	586,203
販売費及び一般管理費	504,016	512,391
営業利益又は営業損失(△)	△58,913	73,811
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	2,553	2,572
受取手数料	458	450
その他	564	964
営業外収益合計	3,579	3,993
営業外費用		
支払利息	934	561
支払手数料	199	199
補助金返還支出	605	-
その他	97	171
営業外費用合計	1,836	932
経常利益又は経常損失(△)	△57,170	76,873
特別損失		
固定資産除却損	7	39
特別損失合計	7	39
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△57,178	76,833
法人税等合計	△12,721	29,262
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△44,456	47,571
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△44,456	47,571

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△44,456	47,571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,290	11,176
退職給付に係る調整額	3,784	2,936
その他の包括利益合計	△5,506	14,112
四半期包括利益	△49,962	61,684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△49,962	61,684
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア開発	システム販売	システム運用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	433,716	310,351	468,022	885,400	2,097,490	—	2,097,490
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5,428	1,299	2,939	9,667	△9,667	—
計	433,716	315,779	469,322	888,339	2,107,157	△9,667	2,097,490
セグメント利益又は損失 (△)	27,913	△20,058	20,459	244,078	272,393	△331,307	△58,913

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△331,307千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア開発	システム販売	システム運用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	500,176	222,974	649,757	915,645	2,288,553	—	2,288,553
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,004	360	3,908	10,273	△10,273	—
計	500,176	228,979	650,117	919,554	2,298,827	△10,273	2,288,553
セグメント利益	35,528	33,887	84,163	258,878	412,457	△338,646	73,811

(注) 1 セグメント利益の調整額△338,646千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。